

平成30年5月23日  
西部農林振興センター 県央事務所 農業普及部

標 題	花シャクヤクの出荷始まる
-----	--------------

(ダイジェスト)

JAしまね島根おおち花き部会「しきの会」では平成28年から9戸の会員が花シャクヤクの栽培に取り組んでいます。

平成28年秋に植え付けた約600株が本年度で3年目を迎え、5月3日から出荷が始まりました。初出荷の日は目合わせを兼ねて川本町三島集荷場に会員が集まり、広島市場に向けた初出荷を祝いました。

JAしまね島根おおち花き部会「しきの会」では、新たな生産品目づくりに向けた取り組みで、転作作物の試作及び推奨活動を行うことを活動の基本方針として定めています。

その中でシャクヤクは労力が比較的にかからず、露地での栽培が主体となっていることから、新規導入品目として、また、獣害被害を受けにくい農作物として注目されています。

「しきの会」では平成28年から9戸の会員が花シャクヤクの栽培に取り組んでおり、平成28年秋に植え付けた約600株が本年度で3年目となり、5月3日に初出荷を迎えました。

当日は1戸の会員からの出荷でしたが、目合わせを兼ねて川本町三島集荷場に会員が集まり、広島市場に向けた初出荷を祝いました。

本年度は出荷予定は7品種、品種によって1株から収穫できる切り花本数は3～10本で、出荷数量は少ないが、5月中旬の出荷ピークを見込んでいます。

今後の取り組みを見据えて、導入した品種の栽培特性の把握、当地域での適応性や販売動向などの情報を会員で共有し、栽培面積の拡大に繋げていきます。



◆ 出荷の様子

◆ 品種 ‘かぐや姫’

◆ 品種 ‘レッドチャーム’

15

担当者

邑智北地域振興課

三上哲壯

TEL 0855-72-9586